

東北地方 1か月予報

(7月26日から8月25日までの天候見通し)

平成15年7月25日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

今後少なくとも1週間程度は気温が低く、日照時間の少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

低気圧や前線の影響で天気がぐずつき、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みですが、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日もあるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並か低い、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ないでしょう。

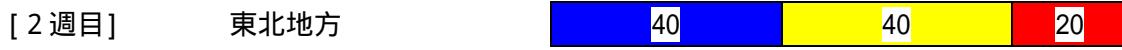
週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月26日(土)～8月25日(月)

1週目 : 7月26日(土)～8月1日(金)

2週目 : 8月2日(土)～8月8日(金)

3～4週目 : 8月9日(土)～8月22日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月1日

3か月予報：8月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	23.1	161.1	167.7	23.0	23.4	23.1
新庄	24.1	158.8	184.5	24.3	24.4	24.1
若松	25.0	127.8	204.9	25.2	25.3	24.9
深浦	23.3	150.7	189.7	23.4	23.6	23.3
青森	23.2	122.0	194.1	23.3	23.7	23.2
むつ	21.8	122.7	158.5	21.8	22.2	21.8
八戸	22.5	124.8	180.2	22.6	22.9	22.5
秋田	24.7	166.2	202.5	24.8	24.9	24.8
盛岡	23.5	161.7	163.8	23.7	23.8	23.4
宮古	22.3	151.8	171.1	22.2	22.6	22.4
酒田	25.1	159.3	217.8	25.2	25.3	25.1
山形	24.9	134.4	189.1	25.2	25.3	24.8
仙台	24.2	150.9	158.9	24.2	24.5	24.2
石巻	23.5	109.0	180.9	23.3	23.7	23.6
福島	25.4	131.2	163.7	25.6	25.8	25.3
白河	23.5	198.3	158.3	23.7	23.7	23.4
小名浜	23.8	116.2	197.0	23.4	23.8	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.6	75~122	90~110
東北日本海側	-0.6~+0.5	78~113	91~113
東北太平洋側	-0.4~+0.6	68~126	88~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+1.2	-0.7~+1.2	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+1.1	-0.9~+1.1	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.5~+1.3	-0.6~+1.3	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年7月25日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(7月26日~8月25日) :

低気圧や前線の影響で天気がぐずつき、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みですが、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日もあるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(7月26日~8月1日) :

明後日(27日)までは低気圧や前線の影響で、曇りや雨の降る所がある見込みです。その後は天気は周期的に変わり、晴れる日があるでしょう。

平均気温は低いでしょう。農作物の管理には十分注意してください。

2週目(8月2日~8月8日) :

低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(8月9日~8月22日) :

太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雷雨となる時期もある見込みです。

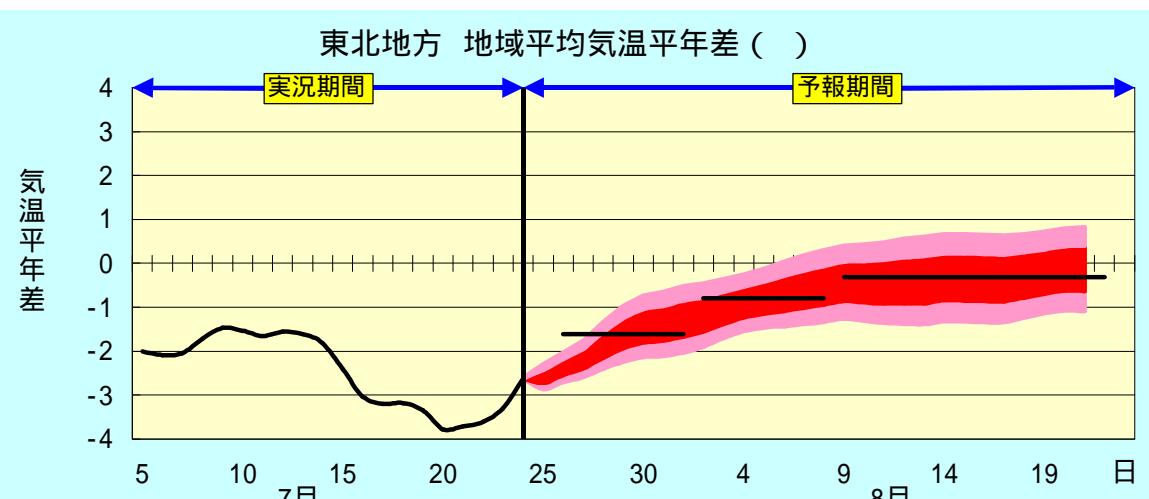
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.6日	4.0日	4.1日	8.5日
東北太平洋側	14.7日	3.6日	3.8日	7.3日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「低い」、3~4週目は「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。



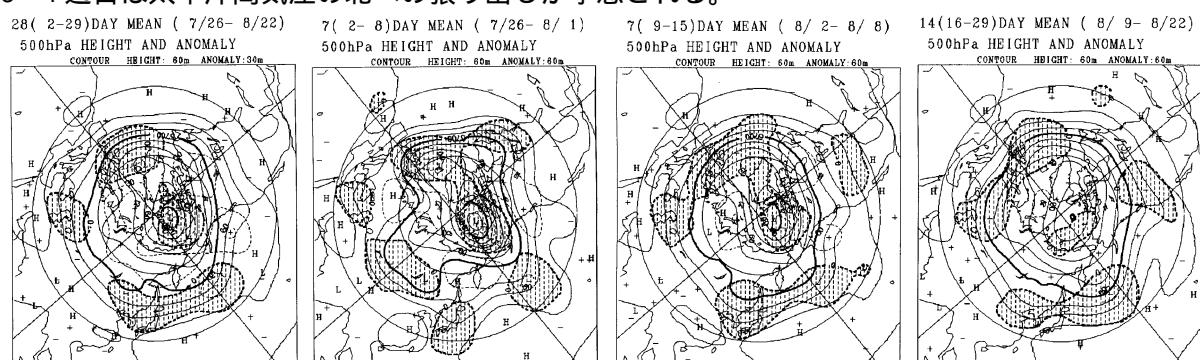
3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、オホーツク海に気圧の尾根が予想される。太平洋高気圧は平年並の強さとなる見込みだが、日本付近は東西に伸びる負偏差に覆われ、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。

週別に見ると、1週目はオホーツク海の気圧の尾根が明瞭。太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、日本付近は負偏差。2週目は気圧の谷が日本の西に予想され、天気のぐずつく時期がある。

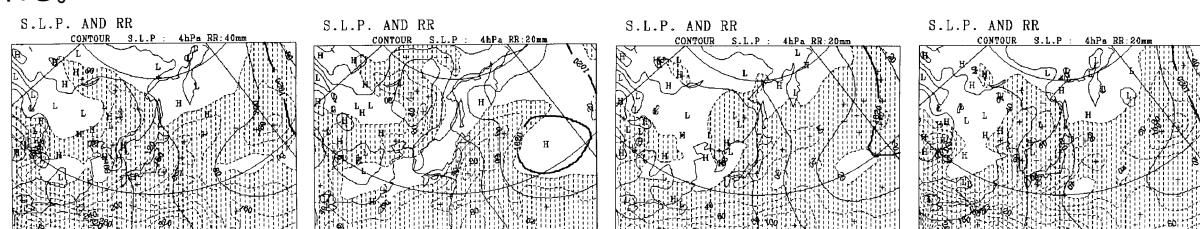
3~4週目は太平洋高気圧の北への張り出しが予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、オホーツク海に高圧部、本州付近は低圧部で、南西諸島から本州南岸にかけてまとまった降水域が予想される。

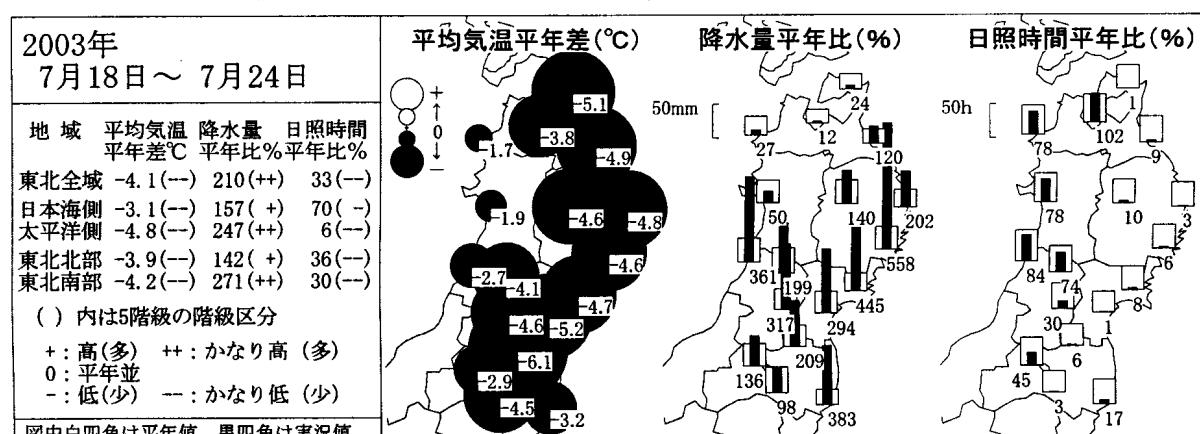
週別に見ると、1週目はオホーツク海に高圧部が予想され、降水域は本州南東海上が中心。2週目は降水域の中心が北上し、本州付近までかかる予想。3~4週目は月平均と同様の傾向が予想される。



4. 最近1週間（7月18日～7月24日）の天候の経過

この期間、梅雨前線や冷たく湿った東よりの風の影響で、東北太平洋側を中心に気温が低く、日照時間が少なくなった。期間の前半は、梅雨前線の影響で東北南部を中心に雨となった。22日は一旦梅雨前線が南下し、東北日本海側では晴れたが、その後は低気圧が東北地方に接近し、24日は岩手県、宮城県を中心に大雨となった。

平均気温はかなり低い。降水量は、東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は、東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）